



子育て伴走「だいじょうぶ！」通信 No. 10

～みんな大切 笑顔あふれる家庭とこども園に～



R5.5.31 やすぎこども園 園長 福島朗博

◆園風景から 地域とともにあるやすぎこども園 ～そら組のはじめてのおつかい～

「いまから、おかいものってきます！」。午後のおやつタイムが終わると、マイバッグを手にしたそら組のお当番さんが事務室をのぞいて元気よく声をかけます。マイバッグは、年長児さんが先般のミニエコ講座で作ったオリジナルものです。年中児さんはエコバッグの代わりに手提げ紙袋をもって嬉しそうに張り切っています。

行き先は、給食の食材を毎日届けてくださってお世話になっている「みのりや」商店で、園から50Mほど離れた近所にあります。当番さんは毎回一人一人、食育の先生から頼まれた食材の名前を覚えて、おつかいに行くのです。

お店に入って、「こんにちは～！」「いらっしゃい。」とおじさんやお姉さんの声。最初の頃は緊張で声かけが必要だった子どもも馴染んできた様子で、一人ずつ「にんじん4こください。」「かたくりこをください。」とお姉さんに用件を覚えて伝えられました。食材を受け取ってバッグや紙袋に大事そうに入れると、ほっとした表情でした。その後、店内の商品棚をぐるりと探検して、珍しい品物があると、「これはなんですか。」とおじさんに聞いていました。「にんにくだよ。」「これは、しょうが。」と教えてもらいました。絵本には出てこない物だな、家の台所で見たことあるかな・・・こうやって教えていただくと勉強になりますね。最後に一列にそろって「ありがとうございました。」と挨拶して、お店を後にしました。

かぼちゃ3個、りんご5個・・・が入っている帰りのカバンは重いけど、子どもには使命感と責任感で何のことはないようです。園に着いて、事務室にかばんの中味を見せて報告し、調理室へ届けたときの当番さんの満足そうな表情を見るたびに、地域の方々に共に子どもたちを育てていただけることのありがたみを感じます。みのりやの皆様、いつもありがとうございます。



歩いて5分。みのりや到着！



「しめじをください。」知らなかった食材も覚えたよ



店内を探検！お菓子もあるぞ！



最後に皆さんにあいさつ。「ありがとうございました。」



調理室へ無事お届け。給食がたのしみだな



「たすかったよ～！ありがとうございます。」は頑張った子どもに感謝を表す素敵な言葉。子どもは大好きな大人が喜んでくれる笑顔が見たいから、また頑張るのです。



「ただいま！」と事務室へ報告



帰り道はカバンが重いな。でもだいじょうぶ。ほら♪ほし組さんも迎えてくれてるよ！



◆子育て講座「乳幼児のこころとことばを育む」から ～抱っこで育まれる安心感～

毎日の園児の送迎の場面で、また玄関で登降園システムの操作で、抱っこを求められて、大きい子や小さい子に関係なく親御さんがよいしょ！と抱えられる様子に、「頑張ってる！」と心の中で拍手を送っています。抱っこしてもらった子どもが嬉しそうに送る視線を受け止めて、「いいね！」とこちらも微笑み返します。

さて、ことばや知力が育つには、「元気なからだ」と「安定したこころ」が不可欠です。子どもの場合は特に、その「安定したこころ」は、信頼する大好きな大人に守られている**安心感**によって育まれます。膝だっこやおんぶ、なでるなど、心をこめたスキンシップで、愛情ホルモンや幸せホルモンとも呼ばれるオキシトシンが分泌されます。心が癒され、ストレスが和らぎ、自律神経を整えて感染症の予防にもつながると言われます。講座（右図スライド）でふれましたが、抱っこする親御さんも心が安定していること、そしてスキンシップの愛情をかけるなかで子どもと一緒に自分にもオキシトシンをもたらして癒され、幸せを感じていただきたいなと思います。

気持ちよく抱っこしてもらえること 抱っこできること

- 親の表情、まなざしは鏡の機能
- 抱いているときの気持ち 抱き心地のよさの質
- 抱かれるときの雰囲気 抱かれるときの大人の態度
- 大人が心地よく、親切に心をこめて抱けること
- 子どもが抱っこしてほしい要求を出したときに、感性よくきちんと受けとめること
- 必要なとき十分抱かれる体験 → 満たされて「降りて」遊びに向かう
- 親が子どもを安心して抱っこできるために…
- パートナーとの関係で愛されて支えられていること、社会との関係においても支えられていること



5月20日の講座には、5名の保護者さんの参加がありました。後半は、今マイブームの絵本や親の読み聞かせしたい絵本の紹介をしあいました。参加者のお母さんは『からのパンやさん（かこさとし作 偕成社）』を紹介され、「いただいた絵本でまだ1歳の我が子にはまだ難しいかなと思っていたけど、いろいろなパンの絵をつまんで口にもっていくしぐさがかわいくて。」と喜んで見てくれることをお話してくれました。そうなんです。ストーリーはおいといて、挿絵を指で指し（つまみ）ながら、だいすきな大人と「おいしいね～」と微笑みのまなざしを交わすだけでうんと素敵です。またお父さんは、『『ぴょん（まつおかたつひで作 ポプラ社）』の絵本で、絵のジャンプする動きに合わせて、わが子を『高い高い』すると喜んでまた見てくれます！』とお話してくれました。それが、このページ上図で紹介した、「からだ」と「こころ」がセットになったかわりなのですね。皆さん親子の楽しそうな情景が和気あいあいと伝わってきて、ほっこりしました。保護者の感想も紹介します。『「ことば」が子どもに与える影響やより良いことばかけの方法について知ることができ、とても勉強になりました。皆さんが紹介されていた絵本も興味深かったので、また参考にしたいと思います。』『産まれてから子どもが育つ上で、親の存在がいかに重要であるか知れて勉強になりました。』『たくさん楽しい！嬉しい！経験をさせてあげたいと思います。まだ我が子連れて図書館に行ったことがないので、今度一緒に行って絵本を自分で選ぶ面白さも感じさせてみようと思います。』

ご都合等で出られなかった方のリクエストにお応えし、また親子のより素敵な関係を多くの方に築いていただきたいと思うので、6月10日（土）にも行います（9時半～11時）。ぜひ、お父さまやお母さまのご参加をお待ちしています！



園長の

ことば・子育て相談会 6月10日（土）午後を予定しています
ご希望の方は平日でも受けつけます

園長だよりバックナンバーはこちらです⇒

